

経営比較分析表（令和2年度決算）

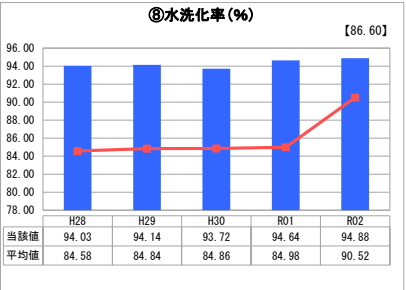
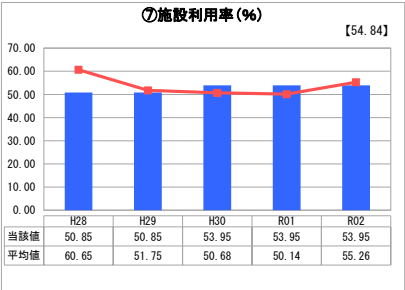
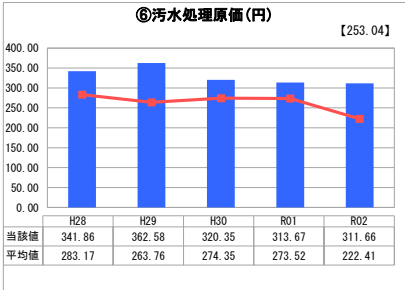
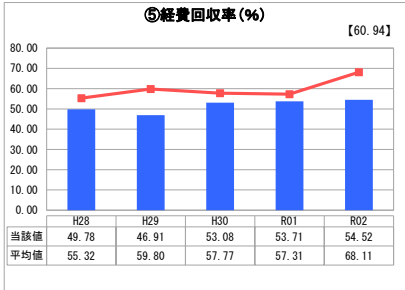
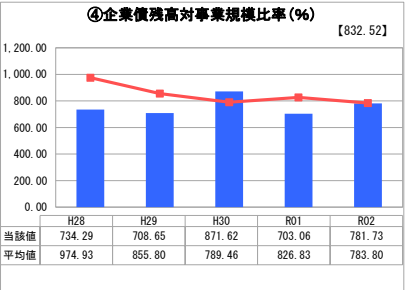
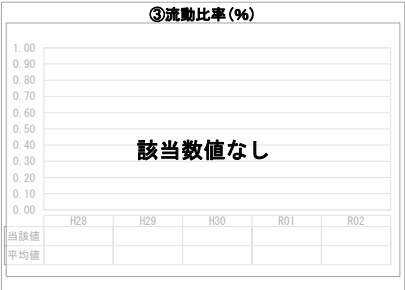
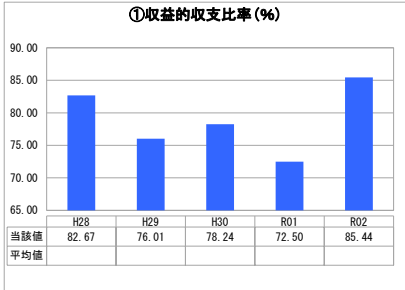
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	4.79	100.00	3,115

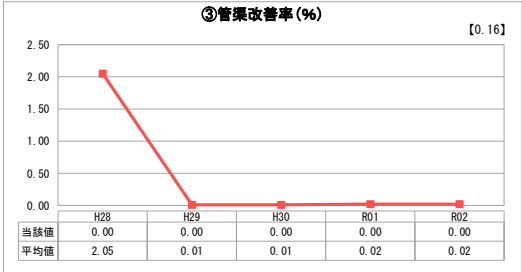
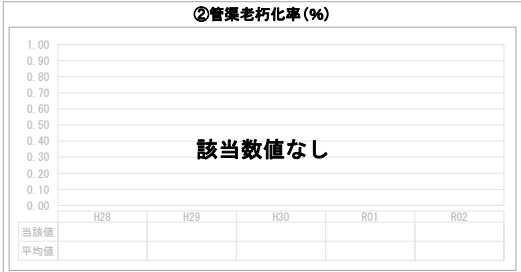
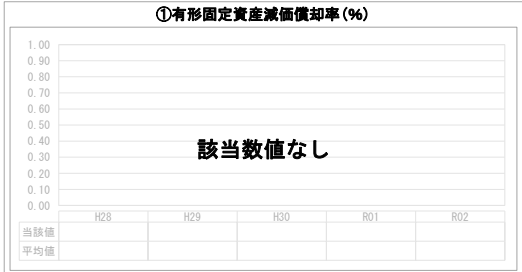
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,867	144.21	96.16
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
664	0.34	1,952.94

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益の収支比率については、一般会計繰入金の増加により、前年度比較では改善が見られる。今後は適正な維持管理に努めていく。

企業債残高対事業規模比率については、横ばいで推移している。類似団体と比較し、同じ水準となっており、適切な投資規模となるよう改善していく必要がある。

経費回収率については、大きな変動はなく、類似団体より低い水準である。今後も一層、維持管理のスリム化を図り、経費削減に努めていく。

汚水処理原価については、類似団体より高い傾向にあり、接続率も高いことから、有収水量の増加はほぼ見込めない。したがって、適正な維持管理に努め、経費の削減を徹底する。

施設利用率については、平成29年から横ばいになっている。類似団体とも同推移となっている。さらなる施設規模の適正化を検討していく必要がある。

水洗化率については、概ねエリア全域に普及しており、早期から下水道事業への取組みをしていることもあって、類似団体と比較しても高い水洗化率となっている。しかし、一部未接続があるので、今後も普及促進のPRをしていく。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率については、近年更新等の実績はありません。今後、更新計画を策定し、長期的な視点で検討する必要がある。

全体総括

経営の健全性に向け、使用料の適正設定及び、一層の維持管理の効率化を図り、経費削減に努める必要がある。

また、施設の老朽化や人口減少による改築更新等に備え、処理場・管渠等の長期的な更新計画を策定し、健全な事業運営に努める。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。